

### 大森ルーテル幼稚園 園長 竹田 孝一

22.03.01 時点-24年4月1日より森田 哲史園長

幼稚園では、日々の生活の中でイエス様と共に祈りをし、賛美をします。礼拝をしていく中で、イエス様とどういふ人なのだろう。見えないうちにも聞こえているだろう。子どもたちが聞いてみたくなることが出てきます。

実際に泥棒のことも神様は好きでいてくれるのだろうか。と牧師先生に確認をしに行く子どももいました。

「私は泥棒さんのこと好きじゃないけど、神様は泥棒さんのことも好きなのですか?」

「うん。いいことを聞きに来たね! 質問の答えは、イエス様は泥棒さんのことも好きだよ。きちんとごめんなさいをしたらイエス様は赦してくれて、こっちおいでー、好きだよーってしたら、悪いことをしていた泥棒さんも変わっていくかもしれないね!」

このお話を、全園児が集まる金



\*シャブシャブ 楽しい水あそび



\*いつも子どもを見守っている校の木

曜礼拝の場で「どんな悪い人、いじわるをしてしまった人も、イエス様は嫌いにならず愛してください」と、副園長先生が話をしてくれました。

どんなに悪い人、いじわるをしてしまった人もイエス様は嫌いにならず愛してくださいと知ったその子は、保育室へ帰ると、「私もいじわるな子、嫌いにならない!」と言っていました。

私たちに出来ることは限られていますが、イエス様のお話を子ども達に伝えていくこと。それこそが次世代を担う子ども達を育ていく上で、必要不可欠であると日々感じています。

### 田園調布ルーテル幼稚園 園長 高瀬 真理子



\*園庭で大人気の泥んこあそび

当幼稚園でさかんな遊びは泥んこです。いつもジョウロやバケツで園庭に水を運んで泥遊びに興じています。園庭は雨が降ると一面泥遊びの場となり、子どもたちは裸足になって外に飛び出していきます。両手両足を泥に入れて感触を楽しみながらのチョコレート作りや、川を巡らせ園庭中を溪谷にするなどダイナミックに遊びます。また泥団子作りも盛んで、座り込んでおしゃべりをしながら、何度も白砂をかけてピカピカに光らせることに熱中します。名人の域まで達すると、周りの子が教えを請いに集まってくる。黒く光るまで磨いたお団子だけ特別に持ち帰ることができるのです。

2月の初めには年長組の子どもたちが家を建てよう、園庭の真ん中に土で土台作りを始めました。次々と子どもたちがきて一緒に作ったり、かと思つと小さな子

たちが困いを崩してしまい、大騒ぎになったりしました。それでも温泉を作りたかったと知り、解決の道を自分たちで手繰り寄せます。温泉付きの素敵な作りは、飽きることもなく卒園式の前日まで続き、クレイターのように作った作りかけの家の中で卒園生全員が記念撮影をして巣立っていきます。

泥だらけになりながら、五感が刺激され、想像力が養われ、共に目標を達成する喜びが養われます。いつも同じ仲間が集い、安心してできる遊びが保証されていること、それが幼稚園です。いつでも新しいことに挑戦できること、力を合わせることで、根気よく続けることができること、友だちと一緒に考えること……ここでの、心が動いたり揺さぶられたりする経験を通して、小さな心と体が育っていくのです。

幼いこの時期に、神様に祝福されながら培われたこれらのことが、今後の人生の土台になっていく、田園調布幼稚園はそんな園でありたいと願っています。



\*みんなで楽しい泥団子づくり

### 蒲田ルーテル幼稚園 教員 安藤 淑子



\*パイプオルガンと十字架が並ぶ礼拝堂で

2022年4月で蒲田ルーテル幼稚園は創立71周年を迎えました。教会の50年史には地元の婦人達が昭和24年に、幼稚園設立を日本福音ルーテル教会に要望したとあります。その2年後に園舎完成、3年後には幼稚園が都に認可されています。

当園は京浜急行電鉄の雑色駅から徒歩5分のカメラ工場の跡地(600坪)に建てられ、現在は5本の桜の大木、様々な果樹等が緑の気持ちの良い空間を作り出しています。この敷地に幼稚園と礼拝堂があり、礼拝堂の二階部分は牧師館になっています。

最初の木造園舎は、平成6年に当時許可される最大面積500㎡の、木の香りに満ちた建物に建て替えられました。園庭は手入れが必要な土のまま、園舎・園庭共に、そこにいる子どもたちに心地

### 次世代をはぐくむ



\*採れたての、美味しそつな、さくらんぼ

良いぬくもりが伝わる事を大切にしています。園の教育方針は、聖書の言葉にある「若い日に造り主を覚え、神と人に愛される子どもとなるよう」を掲げています。自然環境も豊かな園舎で、保育については「遊びを大切にすること。在籍している他園からの園児達とも仲良くする。音楽や動植物については本物に触れる機会を沢山設ける」を基本にしています。時代が変わり、第1子出産前に就業していた女性の就業継続率は50%を超えています。当園も国の子育て支援策の方向性を踏まえ、子育て支援・働く親支援の充実を目指し、一時預かり事業を実施しています。3世代が当園の卒園生というご家族も既にあります。今後も長く蒲田の地にあつて子どもたちが豊かな幼児教育の場である本園で幼児期を過ごせまよう願っています。

### 大岡山ルーテル幼稚園 園長 桑原 泉



\*楽しいお弁当/おやつタイム(アクリル板衝立/コロナ対応時)

2020年に創立80年を迎えた大岡山幼稚園には、2021年に新園舎「大岡山幼稚園アネック」とともにハウスが完成しました。ともにハウスでは、一時預かり事業としての2歳児保育がスタートし、幼稚園に最長5年在籍可能となり、兄弟で一緒に幼稚園へ通いやすくなりました。小さなお友達が増え、その可愛い笑顔に毎日癒されています。

大岡山幼稚園では、50年以上も前から障がい児を受け入れ統合保育をしてきました。現在も園児の1割程は特別な支援が必要なお子さんです。又、毎週水曜日は縦割り保育を行っており、異年齢のお友だちとの楽しい時間を過ごしています。

### 幼稚園の今

近年、子育て環境の変化や共働きの保護者が増えていますので、長い時間預かり保育を利用する方が増えました。これからの幼稚園は、子どもの育ちをより深く、広く支える場所であればならないと実感しています。そして幼稚園は園児のみならず、子育てをしている若いパパやママも卒園生も先生も、みんなが笑顔で安心して集まれる場所であればと思っています。未来を創っていく子どもたちが集まる希望の場所として、昔からの取り組みも大切にしながら、大岡山幼稚園は時代に合った新しい歩み始めています。



\*幼稚園の新園舎:2歳児保育の「ともハウス」